

# 原発いっしょ！ 山口ネットワーク

2023年3月の報告

原子力基本法の改悪  
絶対反対！

417号

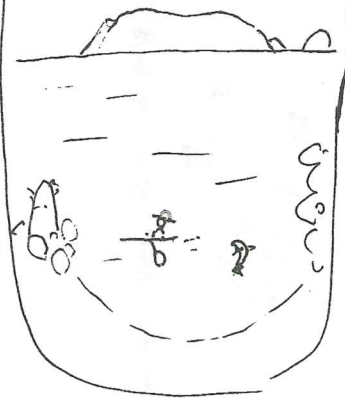
代表者 小中 進  
〒742-1513 山口県熊毛郡  
田布施町麻御2208  
Tel. Fax. 0820-55-6291  
振込口座(年会費 2000円)  
(郵) 01590-5-27469  
口座名「原発いっしょ/山口ネットワーク」  
作製・印刷・発送  
周防灘の自然を守る会  
三浦 翠とメンバーズ

原子力基本法改悪で  
原発推進、60年超運転、  
再処理も「口の責務」と  
規定。これは、  
税金とついで捨てるより  
悪い。「GX東電法案」反対  
Laj!

## 次の集り

2023年4月9日(日) 13:30  
周南市役所 シビック交流室 6

次回の  
田の浦ビブリング &  
ピン4グリーンは  
5月2日。  
日程は後2日。  
おたのしみ!



「原発いっしょ」/山口ネットワークの代表 小中進さんが今回の県議選に周防大島町からの立候補を決意しました。決意表明の文です。

「我慢できますか・今の政治に」

この度の県議会議員選挙には、私も75歳となり若い皆さんに頑張ってもらいたいと考えていました。上関原発計画の周辺5選挙区で無投票の公算が高まっていますので上関原発計画反対の立場から立候補する決意を致しました。

山口県民の多くの皆さんは、上関原発NOです。しかし山口県の自民党の原発推進県議により県民の声は県政に届きません。そして政務調査費の不正使用、県庁ぐるみ後の援会勧誘、公用車「センチュリー」問題、山口県の借金は1兆1284億円となり県民一人当たりでは、86万円の借金となり厳しい財政再建が求められています。

私は、山口県の政治を「一部の権力者で動く」政治から「県民の声の届く」政治へ変えるために山口県民の皆様のご協力をこの県議会議員選挙でしっかり訴え、山口県政を変えるために決意をいたしました。

私たちが「原発いっしょ」/山口ネットワークは、小中進さんの力がある決断を全力で支えて

いきます。周防大島町は 県議会議長柳居俊孝氏の選挙区です。

裁判で断罪されたにもかかわらず、今も県の公用車「センチュリー」を運転手付きで乗りまわし、  
「反省の様子も見られません」

県議選は3月31日告示、4月9日投票日  
です。

よろしく。

カンパ振込先・原発いっしょ/山口ネットワーク  
(郵) 01590-5-27469

2023年3月  
「週」信に、県議カンパとあわせて下さい。

## 県議選立候補 小中氏が表明

3期 周防大島町選挙区  
県議選周防大島町選挙区  
(定数1)に、元職で反原  
発団体代表の小中進氏(75)  
が10日、無所属で立候補す  
る意向を明らかにした。

小中氏は中国新聞の取材  
に「中国電力が上関町に  
建設する」原発計画を止め  
るには自民党中心の県政を  
変えないといけない」と主  
張。議長での期目を目指す  
自民党現職だけが立候補す  
るとみられる同選挙区を無  
投票にしてはいけないと説  
明した。

小中氏は田布施町出身。  
田布施町議を3期、県議を  
旧熊毛郡選挙区で当選して  
1期務めた。  
周防大島町選挙区では自  
民党現職の柳居俊孝氏(73)  
が立候補を予定している。

### 3・18 上原原発を建てるな山口大集会のこと

前日まで雨も予想されたが、夜の雨は朝には止み、マルエのテント設置も順調に。

9時半、宇部大鼓の迫力ある演奏で幕があげられた。10代も交じる若い男女の熱演に大きな拍手。

続いておなじみ光市の上田達生さんの風の座のグループ。

上田さんのボーカルで「福島讃歌」。会場もいつにならず手を振る。女性のボーカルがキーボードを弾きながら、よく通る声で「汚染水を流すな」と歌い上げる。

「海は人間のものじゃないよ」と。



4年前と同じ前田さんと、秋本さんの「司会」が進行。

#### 黙祷

前回まで共同代表だった、児童文学者の那須正幹さんと、東日本大震災と原発事故で亡くなった人々に1分間の黙祷を捧げる。

#### 共同代表・祝島島民の会代表・清水敏保さんの話

4/5向、上原原発計画と、戦い続けてきた。これは珠洲28年・芦浜の37年を越えて日々一長い戦いになっている。

中電はボーリングをやりたいため私たちに、裁判をしつけてきた。私たち祝島の漁業者は補償金を拒否して漁業権を争い続けている。それを妨害しているのは中電の方。

この裁判を正々堂々と戦っていく。これからは皆さんといっしょにたのしみながら、やり強く、戦っていきます。

みかさんの「原発はいらない」という言葉を強く強くあげてください。

#### 共同代表・内山弁護士の話

那須正幹さんの「ねんどの神様」という大人のための物語を紹介。

政行は「原発と共に、戦争に向けても船を切っている。戦争になれば原発が攻撃される可能性が高まる。

いろいろ考えると怒りがこみあげてくるが、怒るばかりではいけない。大切なのは笑顔や自然の力。ふるまは顔の集会にしましよう。



#### 大加賀あや子さんの話(私がメモした範囲)

大加賀町から新潟に避難して9年になります。福島第一原発の事故では岩手から千葉まで、知る人々で放射能汚染にさらされました。

放射能ブルームはありとあらゆるものに沈着。地面も木も水もすべてが汚染され、子供たちの外遊が禁止。アウトドアの活動がすべてできなくなりました。

2011年4月にはICRPの20ミリシーベルトまでのヒパフは安全とある

とこれ、口述人権委員会はヒパフを無マ居住が権利だと警告したが、日本政府は全く聞かない。

現在避難生活を手当も打たず聞かれ、病氣、貧困、いじめ

と非常な苦境に追い込まれている。政府は避難者数は2万人とカウントしているが、福島民報による調査では6.5万人が避難している。

精神的な被害は、過去の大地震より深刻。先が見えない「フロンティア・スワート」ことが PTSD を悪化させる。

農地の見直しも立っていない中、今、原子炉の基礎(パデスタル)が崩壊して、強い地震が来れば、原子炉が倒壊し放射能物質が大量に拡散すると言われている。

そんな中で、政府は原発推進に舵を切った。

復興税を準備に使うという話さえ出ている。原発避難者はこのまっ取り捨てるのでは有りか。

日野行介さんの言う「原発を来民」という言葉が現実だ。

メダカにはしかりに安全宣言が流されるが、汚染水は海に流されようとしているし、汚染土壌は全口に拡散されようとしている。

大きな宇宙に浮かぶこの美しい地球を、平和で暮らしてまきやうたいです。



#### 中村寛弁護士の話

中国電力は2010月25日山口地裁被告支部に「妨害防止請求」という裁判で福島島民の会を提訴しました。「海上ボーリング調査の邪魔になるから」といってこれらというものです。

海ほみんなのものごと。祝島の漁業権を妨害するのは、中電の方です。この裁判は必ず勝つだろうと確信しています。

●祝島島民の会青年部のみなさんのトークショー

南まき、アーサー・ロナードさん、原康司事務局長。

原康司さん「ぼくは、あんなの島に行きませんが、祝島はど若者の多い島はないです。その秘密は何なのかな」

アーサーロナードさんと青年部の4人の話を聞かして下さい。

アーサーロナードさんの話の引き出しのからくりにも自然でアーサーさんの言葉に答える若者たちの話に集中してしまえ、メモを見返すと、アーサーさんの言葉が残らないないことに気がきました。

●清水さん。32才。祝島生れ、中学卒業後、高校、就職して年間島外にいたが、25才で島に帰り、現在町会議員をつとめる。

島内プロパンガスの仕事をしている。それと祖父の代かり伝わる海運業を父といっしょにやっている。

今、島民は20人くらいと、ぼくは子供だった頃より少し減ったが、島の中は皆んなお互いをよく知っている。

コミュニティがしっかり機能しているのがとてもいいな好きだ。



●金ちゃん。は東京生れ、18才で祝島に来た。今32才。

18才の時、東京で大学生だったが原発問題には関心があつたので、上関で埋立仕事が始まるというので来た。

原さんにカマックを習って、海に出た。

原発の設置許可も出ていないのに埋立をがんこおかしいのに、そのことが報道されないのが、山口県庁で仲間とハンパーストライヤをした。

その頃は中電の台帳がたまに来るし、海上保安庁も、中電といっしょになつてゴムボートでぶつかりて来たらしいで大変だった。

3.11で仕事は止つたが、そのまゝ祝島に引越しては年近くになる。

海の仕事、山の仕事をやる。その中で原発はぼくららのとてういづち暮らしを許さないものだと思つた。

海では主にひじょう漁をよばちゃん達に教えてもらっている。大工仕事も習つてやる。これからびわや畑の仕事をならせたい。

今祝島小学校は田舎者でその、27人か30人の子ばかり、半数を占めている。今、祝島には未就学

児が6人いる。

清水君が小学生だった時は一人だったので、その頃は倍増している。



●いつくん。祖父と母が祝島出身で島生れ。

東京に就職し、引を東京で経験したのをきっかけに祝島で暮らしたいと思つた。

祝島で上水設備の仕事をしている。

小さい頃、島に住んでいて、夏には毎年祝島に帰って海で泳いでいた。祝島の海はすごくきれい。東京で泳ぐのと行つても汚なくて泳げない。

祝島の海はどこまでも澄んでいて本当にきれい。

都会に住んでいた時は原発に無関心で、たゞ生活に困られていた。

この集会に集まっている皆さんには頭が下がります。

ぼくらが祝島を日々暮らしていることが祝島を大切にしていると思つた。上関に住んで生活してくれるだけで原発をなくすことにはつながらないと思つた。



③

●Hさん。5年前に祝島に来た。来たのは偶然。金ちゃんの父さんの友達だったから。

仕事はリースや住宅の修理。

空気が食べ物がいいので、東京では病院に通っていたアパートもよくなった。

島にいればおもしろい。なんかいらない。〇〇さんだけじゃない、デスニードやジブリの森よりおもしろい。

島の人は皆んな妖怪のようになつておもしろい。

農業、漁業、やうながら、ホームセンターもないので、何でも自分で作る。あんなにいい。

そつという師匠がいっぱい。

「どがいなことかわらんのか」とけつこつ勝してやれど面白い。

アーサーさん

「いちばん好きなところは？」

「島のコミュニティがすごい」

「困ったことを助けあえるコミュニティ」

「自然環境のすばさ。海に行けば海藻があるし、子供を

お月さんくれるコミュニティを豊にする」

「金ちゃん、やっちゃん達友達がすばらしい。家族以上に  
お互い支え合っている。支えこくれる人の顔が見える。」  
「魚や野菜など食べる物がどこから来たの見える」

アサーさん

「200年前から伝えている祭があるよね」  
「神舞。来年がその年」「これからやるのがどうか決  
まる。200年前に国東半島の人達が遭難した時、祝島  
の人が助けた。そのおれにお祭の作り方を教えた。その  
おれに、そのおれに国東半島に行ったのが祭のはじまり」

アサーさん

「200年も続いてるのすごいよね」

「大分の船を迎へ入れることも、仮神殿を造るのも二年以  
上前から準備しなくては。なかくは覚悟がある」

「しかし、200年続いてるのだからやせない。1980年代とか  
いはばん豪壮な祭りを経験した世代から見ると、ガツ  
りさせるかも知れない。でもやれる形がある」

「続けていけばまた盛り上がる時が来るかも。  
是非祝島に来て下さい。ぼくたちもはまた後女いな  
いので募集中です。」



「ロ船が来て、県庁前でハンガーストして、3.11の事故があ  
る。圧力がいったんゆるんで、今も、田の浦の海がきれい  
なまあるのは、あまらのびりつたからこと。あの時あま  
めこいたら埋められたこと。」

「海を埋めたことは、だめ。海藻や岩の穴に魚や貝が住  
むのよたらそこは再生しない。次世代のために海を残す  
なにと。」

アサーさん

「海を平らうという出発点から核はダメを学んだこと  
になる」

———この時間切れとまりました。———

●次に県外からの団体参加の紹介がありました。

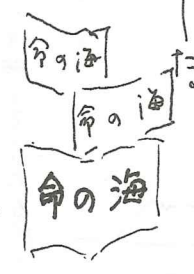
- 「上関どうするネット」(東京から)、「平和フォーラム島根」
- 「愛媛県平和運動センター」
- 「広島県東部市民ネットワーク」
- 「津和野町職員労働組合」
- 「伊方大分裁判の会」
- 「なま島ネットワーク」
- 「大分県平和運動センター」
- 「広島県職員労働組合」

「若狭の原発を考える会」よりメンバー。  
ネットパレードには、カナダ・モントリオールの詩の会  
からの参加も。

●統一地方選挙まで、上関原発反対を明確にして立候  
補する方の紹介がありました。

市議員	周南市	下関市	宇部市	山口市	岩門市	和布	宇部市	山陽小野田	国防町
市議員	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市
市議員	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市
市議員	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市
市議員	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市
市議員	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市
市議員	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市
市議員	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市
市議員	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市
市議員	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市	宇部市

●集会宣言を読みあげ。  
「命の海」と書いたピンク色のA3の用紙を全員で  
かかげるパフォーマンス。



●ストップ！汚染水の海洋放出！ハガキ行動への  
呼びかけがありました。

●参加者80人と主催発表。ともかくスしおりにお会  
てほしいという声がいっぱい集まりました。

会計報告

2023年3月の会計報告—原発いらん山口ネット—

23.1月の報告の残高	174,721
収入	207,000
支出	
1月の報告 作製・送料	36,902
2月 " " "	30,617
2月例会 会場費	1,400
3月 " " "	1,140
祝島の裁判を支援する会(団体)3000	3,000
振込通知料	2,860
ピーチカーンコミ袋代	1,000
会計簿	398
コピー代	175
差引残高	77,492
差引残高	304,229

○会費とカンパの振込みもありありがとうございました。  
○年会費は2000円です。(会計 三浦 翠)

### 3月10日、祝島島民の会の裁判のこと。

午前10時半開廷という早い時間からの裁判にもかかわらぬ、9時半にはたし鳥からのバスが2台到着。あと県内各地から駆けつけた人で、のぼり旗を立て横断幕をひろげてデモ行進しながら、報道陣についで入場し、裁判所の門に入る。

屋外で行われた傍聴券抽選の列には104人が並んだ。入場できるのは22名。

裁判長は田中邦治。正式の訴訟名は「妨害予防請求事件」。廷内の原告席には中電の弁護士3人、被告席には祝島の清水さん達と弁護士5人。

被告側が7ページの準備書面を提出。古本弁護士が準備書面に添った陳述。(準備書面は小中進プロブレ)

① 中電の言う「公有水面埋立権には埋立工事の竣工を妨害するものを排除する権能が内在されている」という主張は認められない。

② ボーリングは県から一般海域の占用許可を得て行われている。祝島の漁業権は物件であるから民法上の強い。

中電は「祝島島民の会」が妨害したというが、「祝島島民の会」は上関原発に反対している住民団体であり、島民の会が船を持しているわけではないので、ボーリング調査を妨害することはできない。

③ 和解条項は公有水面埋立権にもとづく調査に関するものであって、今回のボーリング調査は、埋立後その上に建設されることとしている原子炉施設の活断層に関するものであるから、和解条項から逸脱している。

④ 原告は山口県知事から一般海域の利用に関する条例に基づき占用許可を得ているのだから、その許可書を書き証として提出せよ。

裁判長からは原告(中電)に対して裁判の対象は何が、

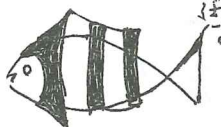
和解条項が、公有水面埋立法かと問うた。

原告は「公有水面埋立法に基づくと答えた。

それに、裁判長は「現在妨害状態なのだから、」

「だから、妨害を排除の必要はないぞやね」と言った。

今回の裁判は、6月8日(木)10時半ごろを決めて、開廷した。



### ○報告会

午後7時から岩口市文化会館に会場を移して開かれた。マスコミ陣と参加者で小ホールは満杯に。

ロービーでは「祝島の裁判を支援する会」への入会者を募った。

木村則天さんの司会で、会がはじまった。

「祝島の裁判を支援する会」の共同代表、小中進さん、原康司さん、アーサー・ビナードさんが紹介され、代表してアーサー・ビナードさんがマイクを。

「中電がまた裁判を仕かけて来たと思つては、裁判することでも深まって行くこともあるし、こうして皆さんで公えるので、楽しんで気持ち湧いて来ました。

この裁判は本当なら祝島の涙でやるべきだ。

そうすれば、裁判の意味がよくわかる。いっその海がどんなに大事か。祝島島民の会が船を持てないこともよくわかる。

祝島島民の会はこれまでもいっつも痛い目にあってきたから、強くなっている。決して負けない。」

⑤

弁護団から裁判の内容について説明があり、会場がのりとり。

祝島の清水さんは

「私たちは漁をしているだけで妨害するのは中電の方。2000年の漁業補償による補償金を祝島は受取っていません。1982年のはじまりから90%以上の人が反対で、補償金を受け取りたいと海をのこすことは、私たちの誇りです。」

今日は多くの方に来ていただいてうれしくです。

楽しく語り強くなりたいのでこれからはもっと多くを願います。」と。

会場から

「中電は何をしたのかよくわからない。」

10日5日には自ラ調停を申し立てようか、はたして、法律論争をする気はないと逃げて、それなのに裁判に訴えている。裁判に法律論争以外の何を望んでいるのか。」

弁護団

「私も聞きたいところですよ。」

会場から、

「山口県の政治の杜撰さにあきれこれです。まず、埋立海域に灯浮標を投げ込んでいただけ、着工」と認めるなど、あり得ない。着工とは埋立海域に網を張り汚濁防止のネットを張って海域に入れたいようにすることを言っています。

原子炉設置許可も出さずに埋立免許を出すんじゃないか…

補償金がらんどき事あるのには決まっていることを確認してかうでないと埋立許可は出せないはずなのに…」

井護田

「よくご存知です。その通りなのですが…」

新聞記者です。



### 中電上関原発「妨害」訴訟 住民団体「不当な調査」

山口県上関町に原発の建設を計画する中国電力が、予定地での海上ボーリング調査を止めないよう住民団体「上関原発を建てさせない祝島島民の会」に求めた訴訟の第2回口頭弁論が10日、山口地裁若狭支部であった。島民の会側は、中電の調査は県から許可を受けた海の埋め立て工事とは関係がなく、調査は認められないと主張した。

住民たちと2014年に交わした和解には反していないとした。住民たちの漁業権こそ尊重されるべきだと訴え、漁をするそれぞれの住民ではなく、住民団体だけを訴えた今回の訴訟は誤っている」と反論した。

（山本祐司）

祝島島民の会の裁判を支援する会  
では会員を募集しています。  
1口500円2口1000円可。  
通信口にはメールアドレスを書いて下されば  
メールで裁判の情報と送ります。

口座記号番号:

01390-4-113230

口座名称:

祝島島民の会の裁判を支援する会

周南法律事務所

担当事務・内山洋二

3月11日(木)

「さようなら上関原発社」は福島と比べない  
黙然待とトリー集木会」のこと。

前日の裁判の夜れもあらず、昨年より少ない60名くらいのみだったのが、旗を立て、せつけんつり集り、14時46分、福島の方へ「中電事務所」に向って黙然待。  
光、平生、柳井、下松、山口、山石田など各地から集った人がマイクを握った。

政府の原発回帰、軍備増強にNOの思いを共有。

新聞記者です。



### 「さよなら上関原発」

3/12(金) 中国電事務所前で集会 反対住民

中国電力が上関原発建設計画を進める上関町で11日、計画に反対する県東部の住民ら約60人が町内の中国電上関原発準備事務所前で計画の白紙撤回を訴える抗議集会を開いた。「さよなら上関原発」と題した集会で、参加者らは「原発反対」など書かれたプラカードを手に震災発生時刻に福島県の方角に向か

について「多くの人が『もう上関原発はできない』と思ったはずなのに、政府は次世代革新炉など新しい原発の開発を検討している」と警戒を呼び掛けた。集会に参加した周南市の三浦翠さん(83)は「社会でも政治でも福島の事故が忘れられようとしている。事故を思い出し、伝えていかなければならぬ」と話していた。

【大山典男】



原発反対を訴える集会参加者の様子

裁判のこと

伊方原発の運転差の裁判(20日)山口支部

2023年5月18日(木) 14時

祝島島民の会の裁判(20日)山口支部

2023年6月8日(木) 10時30分

3月16日伊方原発の裁判については山田誠さんの報告です。 ↓ P9

関連する新聞記事

- (2/23中口)処理水放出「歓迎」目指す。政府、G7で。
- (3/27日経)発送電分離看板倒れ。大手の全10社、不正罰か。
- (2/28日経)電力難民いまだ4万件。新電力に流れた罰か。
- (2/28日経)太陽光パネル。大量廃棄案に懸念。

現状では殆んどが埋立処分。

- (2/28日経)太陽光発電、道でも急増も。新型パネル開発。

- (3/1中口)原発60年超運転法案提出。安全規制より、利用優先。

- (3/1中口)原発長期利用批判の声。福島中国経産局のGX説明会。

- (3/1日経)核融合発電の実証「早期に」政府、初の国家戦略立案。

- (3/2中口)浪江町3日避難解除。福島復興拠点4例目。

- (3/2日経)ノルウェーの上風力発電。脱炭素社会に向けた移行は、先住民の権利を犠牲にして実施されるべきではないと主張した。



一復興拠点 ※葛尾村、大熊町、双葉町は復興拠点部分が避難指示解除済み  
帰還困難区域

- (3/2日経)発電用豪州石炭が急増。欧州のガス代替需要鈍る。日本電力値上げ縮小も。

- (3/2中口)電力逼迫に備え、追加供給者公募。経産省、対策の柱に。

- (3/3中口)グレッタさんまた一時拘束。先住民族マミーの権利擁護を訴えるデモ。

- (3/3中口)送配電分離を提言。政府作業部会。罰則強化求める。大手電力の顧客情報不正利用の問題。

**送配電会社の完全分離のイメージ**

完全に分離しない現行の体制  
(法的分離。別会社だが資本関係あり)

メリット 完全分離より短時間・低コストで移行可  
デメリット 親会社の大手電力の影響が残る

大手電力会社  
●発電部門  
●小売部門

送配電会社

---

完全分離  
(所有権分離。資本関係も解消)

メリット 送配電会社の独立性が高い  
デメリット 移行に時間やコストがかかる

大手電力会社  
●発電部門  
●小売部門

送配電会社

- (3/4中口)放出時期「変更ない」首相福島第一原発処理水。

- (3/4中口)再算定で燃料費下がる。電気代値上げ審査、7社中、6社。中電も。

- (3/4中口)「原発活断層なし」等々規制委判断、5号2号機再稼働も。

- (3/5中口)処理水放出複雑な反響

- 福島第一、賛否「分かれ」

- 「20億」ポイ

ト増。

脱原発88%。日本世論調査会。

- (3/5中口)原発60年超71%不支持。全日世論調査政府の説明「不十分」92%。

- (3/6日経)公海の生物多様性で新協定「国連」。

- (3/7日経)14、欧州で原発格大目指す。10ヶ国と同盟、独と尾裂。

- (3/8中口)ケーブル接続不良が原因。高浜原発4号機の自動停止。

- (3/9中口)営業米利用有無の報告要求。電力不正廃る。経産省、10社に追加。

- (3/9日経)柏崎刈羽、6項目が「要改善」運転禁止解除難し規制案。

- (3/10中口)福島第一原発付近の屋き貝、生殖異常。遺伝子の働き阻害か。福島大など、仕組み一部解明。

- (3/10中口)原発安全対策6兆円超。電力11社再稼働に巨額投資見込

- (3/10日経)処理水放出、進む海洋汚染

- 地元「理解不十分」のき

- (3/10日経)経産省「えん」

- 不正廃る

- 260件、周電

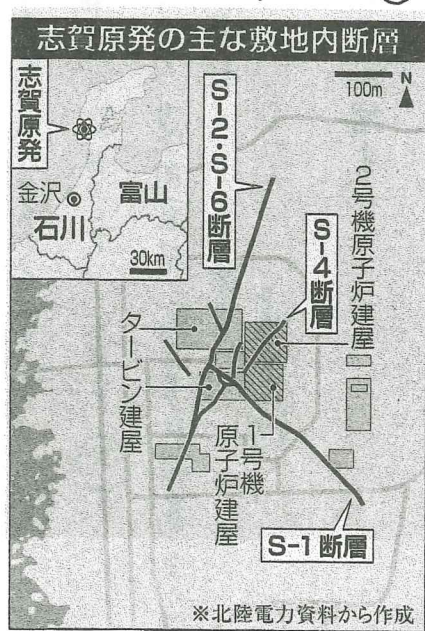
- (3/11中口)国の賠償責任

控訴審は否定。仙台高裁「原発訴訟」。

**原発の安全対策費**

原発	当初の安全対策費	1月時点の安全対策費
北海道電力 泊	900億円超	2000億円台半ば
東北電力 東通女川	1540億円	7100億円
東京電力 柏崎刈羽	2930億円	1兆1690億円
北陸電力 志賀	1100億円	1000億円台後半
中部電力 浜岡	3000億円	4000億円
関西電力 美浜	2400億円	2700億円
中国電力 高島	5467億円	6600億円
四国電力 伊方	1000億円以上	6800億円
九州電力 玄海	1200億円	2100億円
計	計2千数百億円	計9千数百億円
日本原子力発電 東海第2	780億円	2400億円
敦賀	900億円	900億円
電源開発 大間	1300億円	1300億円
合計	2兆7345億円	6兆890億円

※東北電力は東通原発の安全対策費を示していない。集計は、金額に幅がある電力会社は最低額で計算した。四捨五入の関係で数値が一致しない部分がある。



(新聞記事の続きより)

(3/11中口)放射物質の調査、処理水放出へ強化、水産庁、福島などの水産物。

トリチウムが放射のほぼ線。Y線を計るガイガーカウンターの計測はいい。ロシウムはY線を出す。

(3/12朝日)原発事故関連死亡207人。施設転々一週間にわたる調査、ボーン、病院置き去り、農業悲観し自殺。原発回帰に悩む遺族。

(3/11日経)福島事故処理、年一兆円。廃炉や除染増加の可能性。費用総額はお見えず。

(3/14朝日)原発60年超。真向かわれる規制委。委員間の認識相違。

(3/12朝日)原発事故現実と目と。回帰反対。各地で訴え。

(3/14朝日)大手電力値上げ消費者相がケチ制。不祥事対応の議論し、判断。

(3/14日経)再エネ世界で昨年14倍。ウクライナ侵襲で電力需入加速。

(3/15中口)原発訴訟3件の国の責任認めず。福島岡山地裁。

2022年6月の最高裁判決に違ひない。  
(3/15中口)高橋実証設計へ公募開始。460億円。おもんじやご失敗したのに、まだ税金をぶらさねばならぬ。

(3/16中口)福島原発処理水、港の誇り失われぬ。

(3/16日経)高浜3号機、冷却水漏洩の可能性。

(3/16日経)太陽光発電、保険料が高騰。事故多発。対策不足多く。

(3/17朝日)処理水放出反対「周辺」と連携「中口」姿勢強調。

(3/17日経)ドイツ、来月脱原発。シルク首相「最後の3基停止、明言」。

(3/20中口)ポルサーマル2基中断へ。玄海、伊方原発、燃料確保不安定。

■地域の関連新聞記事

(3/2中口)上野町23年度予算案。2.7%減32億円。

(3/3中口)上野城山歴史公園、河津桜とサイゼ見頃。

(3/9中口)上野町、町全額出資法人職員680万円着服。2人告訴へ。

(3/9中口)旧統一教会との関係調査、県議会委が請願不採択。

(3/9よみうり)若口、美和、メジャー、今夏稼働へ。面積17ha、パネル2万3480枚。中国・上海電力の子会社が出資。

(3/11中口)オ五福電機「削除撤回」と広島市立学校向けの平和教育プログラムから。広島市教委へ。県校団協並びに申し入れ。

(3/11中口)中電上野原発「妨害」訴訟。住民団体「不当な調査」 ↓ P 6

(3/16中口)電気料金値上げ先送り。中電並びに燃料費下げ、再計算。

(3/11中口)CO2排出権17者購入。周南の大島千澄前年度から3増。

(3/25中口)伊方3号機運転稼働承認。広島高裁即時抗告審。差し止の棄却

(3/11中口)島根(原発2号機)住民側、仮処分申請「再稼働の差し止の要」広島高裁松江支部へ。

(3/11中口)県議選立候補小中氏が表明。 ↓ P 1  
(3/12毎日)「よみうり」上野(原発)中電上野事務所前。 ↓ P 6

8

■例会の報告(3月12日)

・参加地域 光、下松、周南

① 小中代表は多忙のため欠席。

3月31日告示の県議選に周防大島町から立候補を決めたのようとのこと。発言。

手助けのスケジュールを主人から聞くつもりだったが、これからは電話で連絡しようとのこと。

② 3/10の福島の裁判のこと。 ↓ P 5

③ 3/11「よみうり」上野原発、私たちは福島を支援したい「黙」待とトーク集会 ↓ P 6

④ 新聞記事の紹介。

おみんは連日の行動で疲れしているのだ。日下目の解散とーまーに。

イベント情報は紙面が足りぬと休みます。

本日休業



伊方原発運転差止裁判（本裁判）第19回口頭弁論の報告  
＝事故時における放射性物質の拡散予測と瀬戸内海の汚染の被害予測＝  
＝原発周辺に活断層がないという乙137号証の調査は不十分である＝

23年3月16日 山田記

準備書面甲27-2（本件原発事故による放射性物質の拡散予測と瀬戸内海の汚染の被害予測）、甲32（乙137号証の調査は不十分である）を提出、口頭弁論が行われました。

【事故時の予測結果から明らかになること】

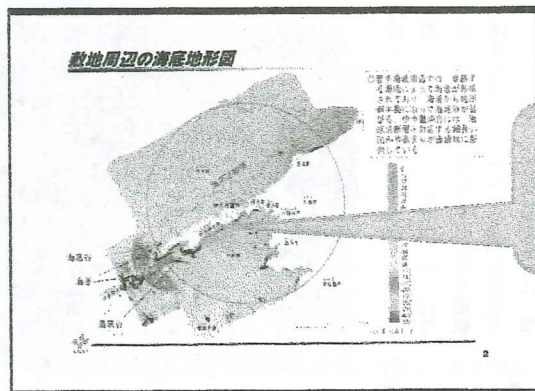


① 濃度の放射性物質が、最も伊方原発に使い原告らの住所地はもちろんのこと、山口県・広島県やその他の陸域に広範囲に拡散し、多くの人々が被曝を強いられる。②仮に被曝を避けるために避難をしても、自宅や田畑、人とのつながり、仕事、学校、地域の伝統などの全てを一挙に失うことになる。③その絶望、苦しみ、悲しみは、避難先での生活に追い打ちをかけるように次々と襲ってくる。④放射性物質の影響は、

数十年、あるいは100年以上にわたって存続するため、被曝は継続し、避難も継続する。と主張しました。

【乙137号証の調査は不十分である】

四電が提出した原発周辺には活断層はないとする乙137号証が原子力規制庁に提出されたのは平成26年10月1日である。ところが平成29年12月19日に地震調査研究推進本部・地震調査委員会が発表した「中央構造線断層帯・長期評価」では「伊予灘南縁、佐田岬半島沿岸の中央構造線については現在までのところ探査がなされていないために活断層と認定されていない。今後の詳細な調査が求められる。」とされている。



伊方発電所直前の海域が「白色」あり、陸域に近い沿岸浅海域の調査がなされていない。

被告においては、断層の深部延長をボーリング調査などにより直接確認すると共に、敷地前部分を

含む陸域に近い沿岸浅海域の調査を早急に行う必要があると主張しました。

私たちは、2014年から毎年「上関原発を建てさせない山口大集会」を開催してきました。2020年から3年間はコロナ禍のため大集会を中止しましたが、上関現地を始め県内各地で分散集会を続けました。合わせて、「上関に原発はいらない、世界のどこにも原発はいらない」という思いを、「さよなら上関原発ネットパレード」というSNSを通じて世界中の人々に呼びかけています。今年は大集会を再開し、ネットパレードにも多くの声が届けられています。私たちひとりひとりの力が集まれば大きな力となります。

ウクライナ戦争は、原発が攻撃の対象になることを世界中の人々に再認識させました。その中で、岸田政権は、ウクライナ戦争によるエネルギー逼迫や炭酸ガス削減を口実に、一昨年10月に決定した「エネルギー基本計画」を無視して、原発を推進しようとしています。本年2月、閣議決定した「GX（グリーン・トランスフォーメーション）実現に向けた基本方針」は、原発の新増設や原発を60年以上動かし続けることを可能とするなど、原子力政策を大きく転換しようとするものです。しかし、世論調査では、60パーセントの国民が原発推進に反対し、90パーセントが政府の説明を不十分だとしています。

昨年、山口県では、中国電力が上関原発予定地海域の3度目の埋立免許を申請し、山口県はこれを許可しました。さらに中国電力は、漁業補償金の受け取りを拒否し続け、田ノ浦の美しい海を41年間守り続けている「祝島島民の会」を提訴しました。これに対し、多くの県民が抗議の声を上げています。

さらに、原発を動かせば動かすだけ増え続ける使用済み核燃料の処理は未解決のまま、国主導の使用済核燃料の最終処分場の誘致活動にも警戒する必要があります。

私たちは、原発をめぐる情勢を注視し続け、「原発回帰」への道を決して許しません。

東京電力福島第一原発の過酷事故から12年。今も福島では「原子力非常事態宣言」が解除できず、多くの人々が放射能被害に苦しんでいます。復興庁と福島民報の資料によれば、福島県では、今も少なくとも約62,000名の人々が県内外に避難しています。離島である祝島は、一旦事故が起これば、避難することはできません。中電が上関原発建設を目論む長島は本土と橋一本で繋がっており、避難は非常に困難です。しかも、原発は、事故が無くとも命を脅かす被曝労働を強制的に負わせ、人権を踏みにじるものです。

原発と原爆は、核分裂により放射能を出します。放射能は人間だけでなく、全ての生き物の命を脅かします。原発から出たプルトニウムは、核兵器の材料にもなります。原発が無ければ、過酷事故は起きません。核兵器が無ければ、核戦争も起きません。私たちは、「核と人類は共存できない」ことを知っています。原発に頼らない未来を選択し、いのちと尊厳が大切にされる社会をつくっていきましょう。

祝島島民をはじめとする上関町内外の人々の粘り強いたたかいにより、田ノ浦や瀬戸内の豊かな海と自然は今も守りつづけられています。100年後の未来の子ども達へ、カンムリウミスズメの住む「奇跡の海」を守り、残していきましょう。

私たちは、上関原発建設計画が白紙撤回されるまで共にたたかいます。

## 規制委員会は政府の傀儡!

3.11の教訓無視で新規建設、60年超運転へ  
政府審議会委員が痛烈批判

# 岸田政権 原発回帰で

# 電気代が高騰する!



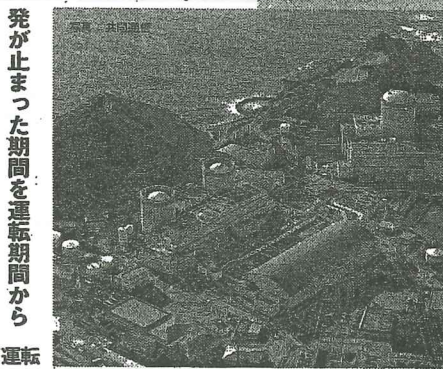
原発の60年超運転や新設を進める岸田政権。しかし、決定の拙速さには組織内からも不満が漏れ始めている。そのうえ、電気料金まで上がる可能性があるというのだ!

「説明が圧倒的に足りない。外から決められた締切りを守らなければいけないという感じでせかされてきた。何なんだというところはあつて、外の場合は独立した機関であつて、外のペースに巻き込まれずに議論すべきだった」

13日に行われた原子力規制委員会の臨時会合でこう発言したのは、杉山智之委員。原子力規制委員会(以下、規制委員会)とは、福島第一原子力発電所事故を踏まえて設置された組織。専門的知見に基づいた中立公正な立場で原発の安全を管理してきた。

「外の場合は、岸田首相の閣議決定のことだ。11年の東京電力福島第一原発の事故後、歴代首相が貫いていた、脱原発依存の姿勢。岸田首相も20年の総裁選で「原発の建て替えや新増設は想定していない」と表明していた。

しかし、岸田首相は、昨年8月のGX実行会議で、原発の新増設と運転期間の延長を検討することを指示。原発回帰へと180度方針を転換したのです。規制変更が行われる3日前の2月10日、岸田首相は原発の新設や安全審査などで原



国内で唯一40年を超えて運転している、福井県美浜町の関西電力美浜原発

る重大な決定は多数決で採決された。その結果、冒頭のように賛成派の委員さえも、結論をせかされた」と苦言を呈する異常事態に、独立した意思決定を活動原則に掲げる規制委員会だが、その独立性が揺るぎかねないほど、岸田政権と歩調を合わせているように見える。

「今回の決定は、すべての面において強引だった」と指摘するのは経済産業省の原子力小委員会の委員でNPO法人「原子力資料情報室」の松久保肇事務局長だ。

「規制委員会は、事務方である原子力規制庁にリードされるように議論を行っていました。というのも、規制委員会の議論が始まる前に、原発推進を担う経済産業省の職員が原子力規制庁の職員に根回

しを行っていたことが発覚したのです。規制委員会で運転期間が議題に上がったのは昨年10月ですが、7月時点で経産省は規制委員会が所管してきた運転期間規制を経産省に移管する方針と国会提出時期を規制庁に伝えていました。

規制委員会のメンバーが「せかされていく」と不満を口にしていたのもこれが理由でしょう。規制委員会は岸田政権のシナリオどおりに進められたのです」

### 原発の新設には2兆円の費用がかかる

これらの結果、老朽化した原発の危険性について十分に検証されぬまま、60年以上の運転が認められそうだ。伊方原発3号機の建設を手がけた三菱重工の元技術者だ

つた森重晴雄さんは、そのリスクをこう警告する。

「核燃料が入った原子炉圧力容器が劣化することがもともと大きな問題です。原発の心臓部である原子炉は炭素鋼で造られていますが、この素材は核分裂によって生じる高エネルギーの中性子線に弱く年を経ることもろくなっています。さらに原子炉を冷やすボウ酸水による腐食も問題。西日本に多い加圧水型の老朽原発は、原子炉をボウ酸水で冷却します。炭素鋼はボウ酸水にも弱く、補強するためにステンレスでコーティングしていますが、経年により隙間からボウ酸水がしみ込み腐食しやすくなるのです」

腐食が進むと、どうなるのか。「原子炉は高温ですから、わずかも圧力容器に腐食が生じると一気に亀裂が広がり、冷却水が漏れ、原子炉を冷やせなくなります。そうなると炉心溶融が進み、大事故につながる可能性もあるのです」なぜこれほどリスクのある原発政策が強引に進められるのか。

「ウクライナ危機や電気料金の高騰に乗じて原子力政策を進めてしまおうという意図でしょう。しかし、原発の新設については30年代に建設開始という計画。運転期間を60年超に延長する件に關しても、少なくともこの先10年間は関係なく、焦って議論することはありません」(松久保さん)

岸田政権は、原発推進の理由として、エネルギー価格の高騰を挙げている。確かに、ここ最近の電気料金の値上がりは深刻なものだ。しかし、松久保さんは原発推進により、むしろ電気料金が高騰する可能性を指摘する。

「われわれの試算では11年から20年までの原発の維持費は17兆円。国民1人あたり年1万3千円の費用が、電気料金に上乗せされてきたのです。また、原発の新設には1兆2兆円のコストがかかり、その費用を政府は「事業環境整備」という名目で国民に押しつける方針。原発推進により短期的には電気代が安くなるかもしれませんが、長期的に見れば維持費や建設費によって電気料金が値上がりする可能性があります」(松久保さん)

福島県双葉郡で唯一、原発事故後も避難せず入院機能を守った高野病院の高野巳保理事長が語る。「深刻な被害をもたらした福島第一原発事故の教訓を岸田政権は放棄するのですね。日本という国は国を守つても国民を守らない、というところがよくわかりました」一連の批判を受け岸田首相は17日、新規建設や運転延長について国民に丁寧な説明する準備を進めるよう大臣らに指示した。結論ありきの進め方で、国民の不安がなくなることはないだろう。

## 原発新規規制制度 何が問題?

石渡明委員 政府の方針に対し

「電力会社の不備で審査が長引いても運転期間を延ばしていいよという話で、非常におかしい。審査をずる人間としては耐えられない」

新規規制制度に対し

「60年超の運転ができるようになるのに、60年以降にどのような規制をするのか具体的にない」

**現状**

原則 40年 | 最長 60年

審査などによる停止期間 | 追加延長

**政府の方針**

最長60年の運転制限は維持しつつも、審査などによる停止期間を運転年数から除外して60年超運転を可能に

**新規規制制度**

30年 | 60年

運転開始から30年を起点に10年以内ごとに劣化状況を審査。60年以降も同様に繰り返す